

2021年度神奈川公立高校共通選抜

社会入試分析

～入試ではこう出る!!～

【出題形式】

- 問1：世界地理
- 問2：日本地理
- 問3：歴史（古代～近世）
- 問4：歴史（近現代）
- 問5：公民（政治分野）
- 問6：公民（経済・国際分野）
- 問7：「地歴公」融合問題

大幅に易化！次年度の難化注意

出題の形式は20年度の大問数7（地理×2、歴史×2、公民×2、「地理・歴史・公民」の融合問題×1）から変化なし。ただし、全体の設問数は昨年度の31問から35問（大問ごとに各5問）と増加した。**問題の難易度は100点満点となって以来一番易化した。**その理由として、①問題文や選択肢から答えを絞り込む手順がほぼ不要であること、②時差の計算問題がなく、資料の読み取り問題も筆算が不要であること、③歴史の並び替えも時代が大きく離れていてわかりやすいこと、などが挙げられる。**次年度の難化に注意が必要である。**

易化の例① 暗算ですぐ解けてしまう【出題例 大問2(オ)】

(オ) ——線④に関して、次の表から読み取れることとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

表 地方ごとの畜産産出額（平成30年） （単位：億円）

地 方	肉用牛	乳用牛	豚	鶏	その他	地方別合計
九 州	3,348	830	1,949	2,583	41	8,751
北 海 道	1,016	5,026	439	357	509	7,347
関 東	684	1,300	1,637	1,480	32	5,133
東 北	1,042	706	978	1,680	40	4,446
そ の 他	1,326	1,477	1,101	2,899	109	6,912
品目別合計	7,416	9,339	6,104	8,999	731	32,589

（総務省統計局ウェブサイト掲載資料をもとに作成）

1. 北海道の「地方別合計」は、「地方別合計」の総額の5割を上回っている。
2. 「鶏」の「品目別合計」は、「品目別合計」の総額の5割を上回っている。
3. 北海道の「豚」は、北海道における畜産の品目の中で、最も産出額が大きい。
4. 九州の「肉用牛」は、他の地方における肉用牛の額と比べたとき、最も産出額が大きい。

易化の例② 離れた時代の並び替え【出題例 大問3(エ)】

(エ) ——線③に関して、武士による争乱について説明した次の文Ⅰ～Ⅲを、年代の古いものから順に並べたものを、あとの1～6の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- Ⅰ 將軍のあとつぎ問題をめぐって有力な守護大名の細川氏と山名氏が対立し、戦乱がおこった。
- Ⅱ 全国の武士が北朝、南朝の二つの勢力に分かれ、60年近く戦いが続いた。
- Ⅲ 平氏に対する後白河上皇（法皇）らの反発が強まる中で、源頼朝らが挙兵した。

1. Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ
2. Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ
3. Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
4. Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ
5. Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ
6. Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

「入試に向けて」

- ① Weekly Testと教科書で基本的な知識や用語の復習を行っていく。**春から何度も覚え直してやっと定着していく！**
- ② 歴史は年号ゴロ合わせも併用する。世界史のできごとは近い時期の日本史の事件とリンクさせる。**歴史の流れだけでは解けないレベルも想定！**
- ③ 資料やグラフの読み取りに慣れる。縮尺の計算、割合や%から数量を計算できるようにする。**計算力も問われている！**
- ④ 問題のキーワードから、どの知識が問われているかを推測する。**入試問題・模試・テスト&ゼミなどでアウトプットの訓練！**